

市長の思う「平成25年豊川市の10大ニュース」

(月日順)

- ① 3月30日 **消防署南分署が完成**。鉄骨2階建て、述べ床面積1千平方メートル。太陽光発電システムや津波対策として屋上への避難階段設置。高規格救急車と救急救命士を配置し、西・南部地域における救急車の到着時間の短縮を図る。
【関連】他の完成した新施設としては、4月1日に御油松並木公園が開園。4月10日にごゆ児童館が完成。
- ② 4月1日 **中学生以下の子ども医療費を完全無料化**。中学生の通院の自己負担額への助成を1/2から全額に拡充。
- ③ 5月1日 **新市民病院が開院** (5/7から一般外来診療開始)。診療機能の充実による安全で質の高い医療の提供、救急医療の充実を図る。災害拠点病院としての機能を果たすことも可能。また、助産師がサポートしながら出産できるバースセンターを新設。
【関連】市民病院跡地の再開発業者が決定 (4/24)。商業、医療、福祉の複合施設の整備計画概要と事業者を発表 (6/17)。
- ④ 6月1日 **市制施行70周年記念式典**を開催し、約1千人が節目を盛大に祝う。
【関連】多様な70周年記念事業を開催。
 - ・原付バイク限定700枚「いなりナンバープレート」を交付 (7/1～)
 - ・開園20周年を記念して「あかつかやま公園夏まつり」 (7/21)
 - ・「NHKのど自慢」 (8/4)
 - ・小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトの展示会 (8/28～9/8)
 - ・記念誌「豊川街ものがたり」発行 (6/4～) や「新版豊川の歴史散歩」刊行 (10/30～)
- ⑤ 7月9日 **キュパティーノ市との姉妹都市提携35周年**を記念して、市長を団長とする市民使節団を派遣 (7/9～7/16)。記念品として、御油宿や赤坂宿が描かれた浮世絵版を贈る。
【関連】キュパティーノ市市民使節団が来訪 (11/8～11/14)。記念品としてキュパティーノ市の風景が描かれた油絵をもらう。

- ⑥ 7月25日 アレルギー食や災害時炊き出しにも対応できる**南部学校給食センターが完成**し、市内18小中学校へ給食を提供(9/3～)。
- ⑦ 8月20日 **全国高校総体競泳で豊川高校が史上初、全国アベック総合優勝。**
【関連】陸上男子400mで豊川高校の中川滋貴選手が3位入賞。
- ⑧ 9月16日 **台風18号が東三河を直撃。**負傷者5人(重傷1・軽傷4)。住宅被害一部破損37棟、床下浸水8棟。損害額は、農産被害84,643千円、農林水産業施設21,516千円など158,687千円。
- ⑨ 11月3日 **全国高校駅伝高校愛知県予選会で男子は豊川工業高校、女子は豊川高校が優勝。**豊川工業高校(男子)は2年ぶり15回目、豊川高校(女子)は7年連続7回目の優勝。12月22日に京都市で開催される全国大会に出場。
【関連】愛知県中学校駅伝大会で豊川東部中学校がアベック連覇。12月15日に山口市で開催される全国大会に出場。
- ⑩ 11月9・10日 **B-1グランプリ in 豊川開催。**過去最多の64団体が参加し、2日間で58万1千人が来場。